

開会挨拶 天野 治 部会幹事

開催理由：敦賀高校の皆様、気比高校の皆様、敦賀工業高校の皆様、そして敦賀、福井、関東、関西からお越しの皆様、講演にご参加ありがとうございます。

高い石油時代、この石油がわれわれの生活をサポートしている。生活がいずれ劇的に変わるの間違いありません。それに対して、残念ながらわれわれには、十分な準備ができていない。いち早く取り組む必要があります。備えの大きな候補のひとつがもんじゅであるわけです。その意義を皆様と共有する。これがこのセミナーを敦賀で開催する理由です。日本の将来のあるべき姿を考え、社会に広く発信していく。学会のつとめであり、本日の会議を開催している理由です。

社会はややもすると、今のこのときの断面のみをみていて、本質や長期的観点が欠けることが多いです。物事に隠された本質、この断面をうごかしている本質はどんなことなのか。今石油の値段が上がってきている。この理由の本質を議論したい。それは過去のどの点が理由になっているのか。将来はどのように代わっていくのかを示していきたい。その備えも、もっと長期的観点や世界的視野から考えてみたい。学会というのは、皆様方に意見を押し付けるところではございません。皆様が考えるための材料を提供するところです。考える視点や考える深さを発信するものです。

一部の講演前半は「高く乏しい石油時代がくる」は東大名誉教授で富山国際大学教授で、資源のエキスパートの石井先生、先生は、世界で資源を本質的に考えるASPO会議にもアジアから参加されており、世界的に知見を共有しています。